

メイン会場訓練

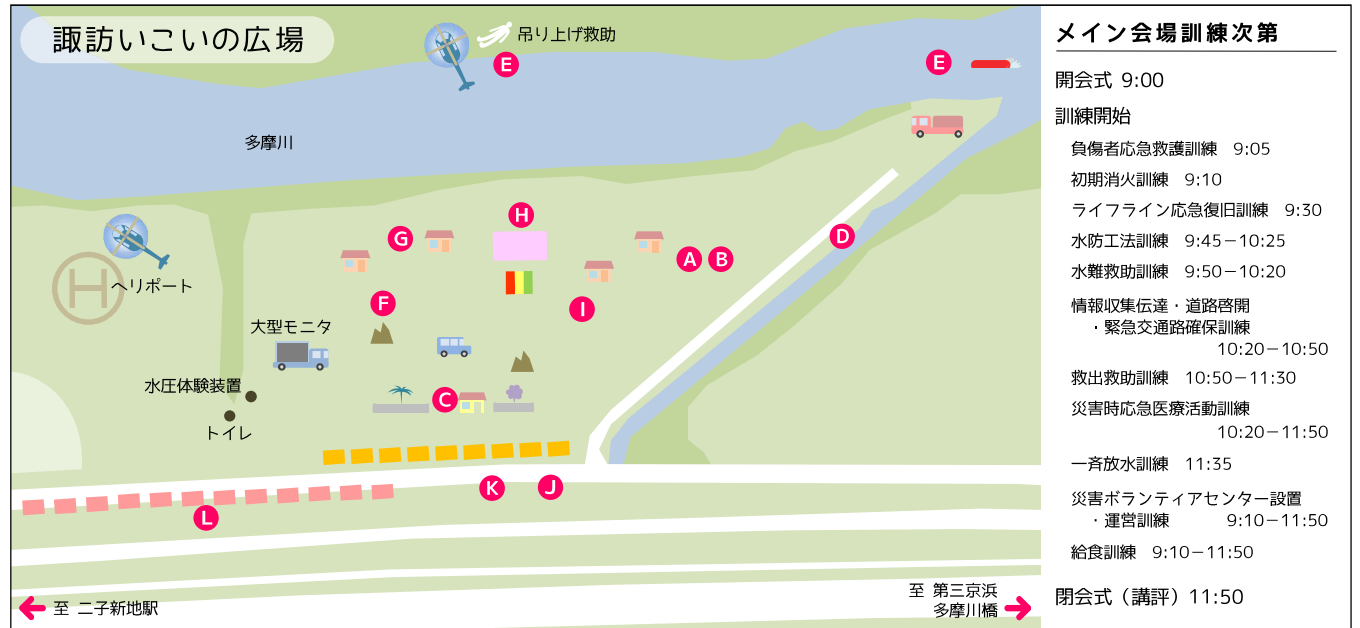
8月30日(土) 9:00
於 諏訪いこいの広場

サブ会場訓練

8月29日(金) 18:00
於 市立橋中学校

平成
26年度

川崎市総合防災訓練



メイン会場訓練次第

開会式 9:00

訓練開始

負傷者応急救護訓練 9:05

初期消火訓練 9:10

ライフライン応急復旧訓練 9:30

水防工法訓練 9:45-10:25

水難救助訓練 9:50-10:20

情報収集伝達・道路啓開
・緊急交通路確保訓練
10:20-10:50

救出救助訓練 10:50-11:30

災害時応急医療活動訓練
10:20-11:50

一斉放水訓練 11:35

災害ボランティアセンター設置
・運営訓練 9:10-11:50

給食訓練 9:10-11:50

閉会式(講評) 11:50

各訓練項目のご紹介～メイン会場訓練編

- メールニュースかわさき等による情報伝達訓練(訓練開始直後)
地震を告げる警告音およびメールニュースかわさきにより、高津区内に地震に伴う火災が発生したため、一斉に住民に避難を呼びかけます。
- 負傷者応急救護訓練(マップ内 A)
地震発生間もないため、消防や警察などの救助が得られないとの想定で地域の方々を負傷した方や災害時要援護者を適切な方法で救助します。簡易担架等を使った救出を行い、柔道整復師による応急救護や、民間救急車やUD(ユニバーサルデザイン) タクシー等による搬送を行います。
- 初期消火訓練(マップ内 B)
救出した家屋から火災が発生したため、小中学生など近隣住民が力を合わせてバケツリレーや消火器(水消火器)、消火用ホースで初期消火を行います。
- ライフライン応急復旧訓練(マップ内 C)
地震は私達の生活にも被害を及ぼします。ここでは上下水道局による漏水からの応急復旧、NTT東日本による特設公衆電話の設置、LPガス協会によるプロパンガスの復旧、東京ガスによるガス漏洩の応急修理、東京電力による応急送電など、ライフライン事業者の方々で災害時にどのような手順で応急復旧するのかをご紹介します。
- 水防工法訓練(マップ内 D)
高津区内に集中豪雨が 발생し、河川が氾濫するおそれがあるとの想定で、積み土の工法や家庭水防措置訓練を行います。
- 水難救助訓練(マップ内 E)
高津区内に集中豪雨が發生し、住宅地に浸水が発生したという想定で、高津消防署員がロープを活用した救助方法で被災者を救助します。また、海上保安庁と川崎市消防局のヘリコプターが救助を待つ被災者を吊り上げ救助します。

- 情報収集伝達・道路啓開・緊急交通路確保訓練(マップ内 F)
地震により市内道路で被害が発生したとの想定で、アマチュア無線による連絡を受けた高津区災害対策本部は、道路公園センター、川崎建設業協会及び神奈川建設重機協同組合に情報を伝達します。各機関はそれぞれ重機等を用いて道路上のがれきや転覆車両を除去します。また除去後には高津警察署が交通検問を行い、緊急車両を通行させます。
- 救出救助訓練(マップ内 G)
ビルの倒壊やガレキによる進入経路の阻害など、救出活動の妨げとなる要因が発生、こうした困難な状況から人命を迅速に救うべく、警察・消防・自衛隊が連携し救出救助にあたります。また人が入っていけないような狭い場所への捜索には救助犬が活躍します。
- 災害時応急医療活動訓練(マップ内 H)
救出救助訓練で助け出された人を適切に対応するため、医師、看護師、薬剤師などで構成された災害医療チームが、傷病者のトリアージと、症状に合わせた治療を行います。
- 一斉放水訓練(マップ内 I)
メイン会場訓練の最後には、会場の左右から中央の倒壊建物に向けて一斉に放水します。放水作業を行う高津消防団の活躍や、はしご車にご注目ください。
- 災害ボランティアセンター設置・運営訓練(マップ内 J)
災害発生に伴い、ボランティアを求めている人としたい人を適切にマッチングするため、災害ボランティアセンターを立ち上げ、運営を行います。
- 給食訓練(マップ内 K)
訓練参加者には高津区自主防災組織や高津区赤十字奉仕団の協力により、自衛隊が作るカレーをご試食いただけます。
- 防災フェア(マップ内 L)
市内の防災関係企業や訓練に参加している市民団体等による防災・減災の取組の紹介のほか、水圧体験装置や地震・煙を体験できるコーナーがあります。

読む訓練

皆さんはどれだけ備えていますか

訓練1 地震の心得10か条を確認しましょう。

— 地震が起きたときに何をすべきかご存知ですか —

- 第1条 我が身の安全の確保
- 第2条 素早い火の始末
- 第3条 出口の確保
- 第4条 出火していたら消火
- 第5条 あわてて外に出ない
- 第6条 路地や川辺に近寄らない
- 第7条 山崩れ、がけ崩れ、津波に注意
- 第8条 避難は徒歩、持ち物は最小限
- 第9条 みんなで協力して応急救護
- 第10条 正しい情報を得て、冷静に行動を

訓練2 家にある物を確認しましょう。

— いざという時のためにどれくらい備えていますか —

- 非常食（缶詰・レトルト食品など） 下着 靴下
- 毛布 飲料水（粉ミルク・離乳食なども） タオル
- 洗面道具 大きなゴミ袋 ウエットティッシュ
- ヘルメット（防災ずきん） 常備薬 救急医療品
- 三角巾・ガーゼなど 軍手など 携帯レインコート
- 携帯電話・充電器 携帯ラジオ 電池
- 懐中電灯 マッチ・ライター ローソク ロープ
- ナイフ 缶切り 時計 預金通帳 印鑑
- 現金（お札と小銭を分けて） 健康保険証（コピー可）

訓練3 「メールニュースかわさき」に登録しましょう。

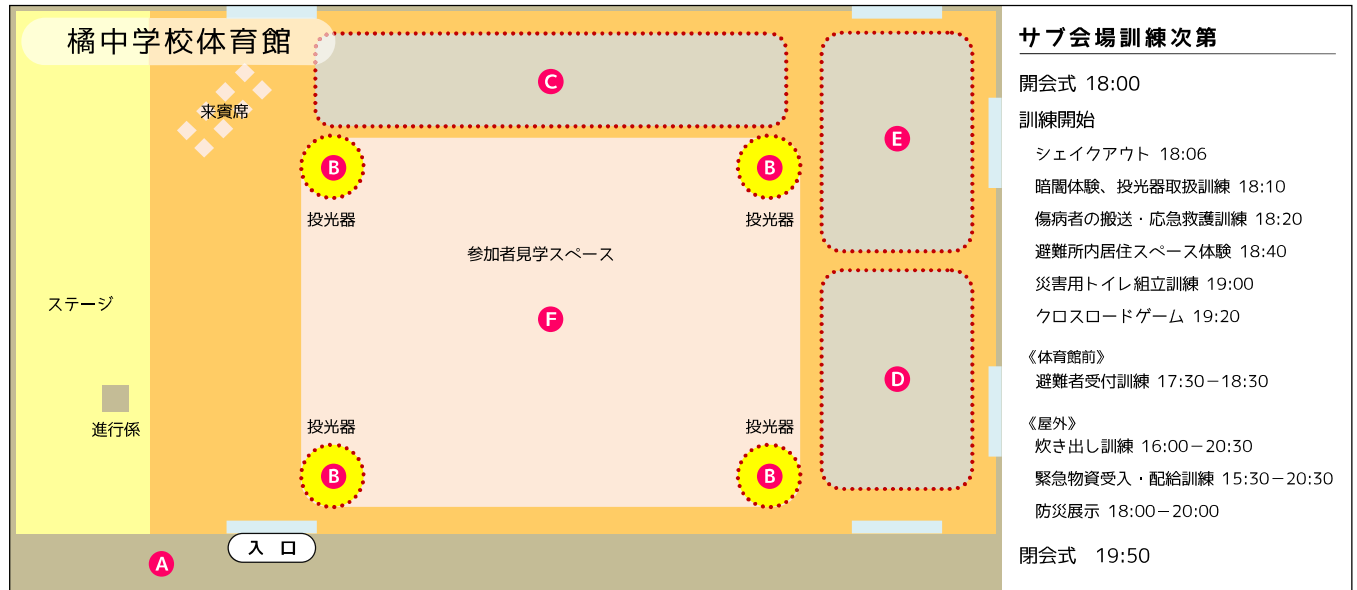
— 登録いただいたアドレス宛に防災情報を配信します —

【登録用メールアドレス】

空メール（件名及び本文不要）を送信してください

パソコン用：mailnews@k-mail.city.kawasaki.jp

携帯電話用：mailnews-m@k-mail.city.kawasaki.jp



サブ会場訓練次第

開会式 18:00

訓練開始

- シェイクアウト 18:06
- 暗闇体験、投光器取扱訓練 18:10
- 傷病者の搬送・応急救護訓練 18:20
- 避難所内居住スペース体験 18:40
- 災害用トイレ組立訓練 19:00
- クロスロードゲーム 19:20
- 《体育館前》
避難者受付訓練 17:30～18:30
- 《屋外》
炊き出し訓練 16:00～20:30
- 緊急物資受入・配給訓練 15:30～20:30
- 防災展示 18:00～20:00

閉会式 19:50

各訓練項目のご紹介～サブ会場訓練編

- 避難者受付訓練（マップ内 A ※体育館前）
参加者を避難者に見立て、避難者の受付や避難者数等の報告を行います。
- シェイクアウト（マップ内 F）
緊急地震速報音を合図に参加者全員で安全確保行動を行います。震災効果音や大型モニターで映し出されるイメージ映像により臨場感ある訓練を行います。
- 暗闇体験、投光器取扱訓練（マップ内 B）
停電時を想定し、体育館内を真っ暗闇にした中で、投光器の取扱いを行います。
- 傷病者の搬送・応急救護訓練（マップ内 C）
消防署員による、倒れて起き上がれない傷病者の搬送要領や、「声の出るダミー人形」を活用した、救急隊の現場対応（救急蘇生）を見学します。
- 避難所内居住スペース体験（マップ内 D）
避難者が生活するための居住スペースを設け、実際に避難生活を体験していただきます。また、女性に配慮したスペースを設けるなど、男女共同参画の視点の必要性について考えます。
- 災害用トイレ組立訓練（マップ内 E）
備蓄倉庫から搬入された災害用トイレの組立手順を確認します。
- クロスロードゲーム（マップ内 F）
大型モニターを活用して、災害対応時に連続して被災者が迫られる重大な決断を疑似体験することのできるゲーム（＝クロスロードゲーム）に参加者全員で行います。
- 炊き出し訓練（屋外）
避難所の備蓄倉庫内の資機材を活用し、炊き出し及び配給を行います。
- 緊急物資受入・配給訓練（屋外）
パトカーの先導のもと周辺各自治体からの緊急物資をトラックで避難所に搬送し、避難所運営会議での受入確認や避難者への配給を行います。
- 防災展示（屋外）
関係機関による防災資機材、物資等の展示及び啓発グッズの配布を行うなど、防災・減災に関する啓発活動を行います。

平成26年度川崎市総合防災訓練（メイン会場訓練・サブ会場訓練）参加機関一覧

<順不同>

【協定機関・指定公共機関】（一社）川崎建設業協会、神奈川建設重機協同組合、（公社）神奈川県LPガス協会川崎北支部、川崎市管工事業協同組合、（一社）神奈川県トラック協会、赤帽首都圏軽自動車運送協同組合、川崎市アマチュア無線情報ネットワーク、かわさき市民放送圏、（一社）神奈川県タクシー協会川崎支部、川崎地区ケア輸送連絡会、（特非）救助犬訓練士協会、東京電力㈱川崎支社、東日本電信電話㈱神奈川事業部、東京ガス㈱川崎支店、東京ガス㈱神奈川導管ネットワークセンター 【医療・福祉・教育関係機関】（公社）川崎市医師会、（公社）川崎市歯科医師会、（公社）川崎市病院協会、（公社）川崎市看護協会、（一社）川崎市薬剤師会、（公社）神奈川県道整復協会、（公社）川崎市獣医師会、日本医科大学武蔵小杉病院、帝京大学医学部附属溝口病院、聖マリアンナ医科大学病院、川崎看護専門学校、川崎市立看護短期大学、日本赤十字社神奈川支部、赤十字奉仕団川崎市地区本部委員会、高津区赤十字奉仕団、川崎市聴覚障害者災害対策委員会、（特非）川崎介護福祉士会、（社福）川崎市社会福祉協議会、（社福）川崎市高津区社会福祉協議会 【市民団体、学校、民間企業等】高津区自主防災組織連絡協議会、橘中学校区防災ネットワーク連絡会議、高津消防団、高津地区婦人消防隊委員会、高津地区少年消防クラブ運営委員会、高津消防ボランティアの会、ジュニアハイスクール消防隊、川崎市外国人市民代表者会議、かわさき市民活動センター、川崎防災ボランティアネットワーク、（特非）日本救難バイク協会、（特非）ママプラダ、川崎市男女共同参画センター、㈱オスモ、㈱近藤工芸、㈱サンナイオートメーション、㈱総商、川崎市新エネルギー振興協会、日本原料㈱ 【国・県の機関】陸上自衛隊第31普通科連隊、自衛隊神奈川地方協力本部溝の口募集案内所、神奈川県高津警察署、神奈川県警第二機動隊、神奈川県警本部危機管理対策課、神奈川県警地域部航空隊、第三管区海上保安本部

まさかの災害に備えよう！

川崎市の防災啓発冊子「備える。かわさき」は各区役所の窓口で配布しています。様々な災害から正しく身を守れますか？災害が起きてもご自宅で暮らせますか？一家に一冊、あれば安心です。



平成26年度川崎市防災訓練全体概要

知って！備えて！守りぬく！
明日のあなたを守るのは今のあなた

9月1日(月)は「防災の日」
8月30日(土)～9月5日(金)は「防災週間」

川崎市総合防災訓練(高津区会場)

— 第35回九都県市合同防災訓練 川崎市会場 —

川崎市では、過去の地震の教訓や首都直下地震発生の切迫性を踏まえ、自助・共助・公助の理念に基づき、次のとおり、実践的な防災訓練を実施することにより、防災意識の高揚と地域防災力の強化を図ります。

実施日時・実施場所・内容

メイン会場訓練(災害応急対策活動訓練)

- 実施日時：平成26年8月30日(土) 9:00～12:00
- 実施場所：多摩川緑地内(諏訪いこいの広場及び周辺)
- 内 容・ボランティアセンター設置・運営訓練
 - ・初期消火訓練
 - ・負傷者応急救護訓練
 - ・ライフライン応急復旧訓練
 - ・道路啓開、緊急交通路確保訓練
 - ・救出救助訓練
 - ・災害時応急医療活動訓練
 - ・情報収集伝達訓練
 - ・水災害対応訓練
 - ・消火訓練
 - ・給食訓練
 - ・防災フェア

サブ会場訓練(住民参加型訓練)

- 実施日時：平成26年8月29日(金) 18:00～20:00
- 実施場所：川崎市立橋中学校(高津区千年1300)
- 内 容・避難者受付訓練
 - ・シェイクアウト(いっせい防災行動訓練)
 - ・暗闇体験⇒投光器取扱訓練
 - ・傷病者の搬送・応急救護訓練
 - ・災害用トイレ組立訓練
 - ・災害クロスロードゲーム
 - ・炊き出し訓練
 - ・緊急物資受入・配給訓練
 - ・避難所内居住スペース体験
 - ・防災展示

多数遺体取扱訓練

- 実施日時：平成26年9月4日(木) 13:00～15:00
- 実施場所：川崎市立高津高等学校(高津区久本3-11-1)
- 内 容：検視・検案・身元確認、遺族対応・引き渡し等

個別訓練

実施日時

「防災の日」又は「防災週間」内の適切な日に実施。ただし、実施主体が地域の実情に応じ、有効かつ適切と考える日時に実施することを妨げない。

実施場所

川崎市内全域(適地において実施)

実施主体

各局区役所、自主防災組織、市立小中学校、幼稚園、その他各企業・事業所等

かながわシェイクアウトへの参加

実施日時

9月1日(月) 11:00

実施要領

県内市町村及び学校、保育所、企業、個人等が、訓練開始の合図によりそれぞれの場所で、参加者自身が一斉に安全確保行動を取る。

九都県市幹事都県市会場

幹事都県市

相模原市

実施日時

9月1日(月) 9:00～12:00

実施場所

在日米陸軍相模原総合補給廠

平成26年度川崎市総合防災訓練（高津区メイン会場訓練）進行表

